

あま市男女共同参画プラン

～令和元年度実施状況調査報告書～

令和2年5月
あま市

【目 次】

あま市男女共同参画プランの体系	1
プランに基づく施策の事業数と評価	2
あま市男女共同参画プラン実施状況	
基本目標1 : 男女共同参画の理解の促進	3
基本目標2 : 男女平等意識を育てる教育・学習の充実	9
基本目標3 : あらゆる分野での男女共同参画の推進	13
基本目標4 : 様々な困難を抱える人々への支援	21
基本目標5 : 生涯を通じた健康支援	31
基本目標6 : 暴力の根絶のための基盤づくり	37
地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等への女性の登用状況	
地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等への女性の登用状況	
市役所職員の女性管理職の状況	

あま市男女共同参画プランの体系

(基本理念)

個性を認め 思いやる心を持ち 男女がともに輝けるまち

基本目標1

男女共同参画の
理解の促進

- 1 人権の尊重と
男女共同参画の
意識啓発
- 2 子どもにとっての
男女共同参画

基本目標2

男女平等意識を
育てる
教育・学習の充実

- 3 教育の場における
教育・学習の充実
- 4 家庭・地域における
教育・学習の充実

基本目標3

あらゆる分野での
男女共同参画の
推進

(あま市女性活躍推進計画)

- 5 政策決定過程への
女性の参画の拡大
- 6 様々な分野におけ
る男女共同参画の
拡大
- 7 ワーク・ライフ・バラ
ンスの実現に向け
た取組
- 8 誰もが働きやすい
職場環境づくり

基本目標4

様々な困難を
抱える
人々への支援

- 9 高齢者、障がい者、
外国人等への支援
- 10 貧困等生活上の困
難に直面する人々
への支援
- 11 性的少数者、複合
的に困難な状況に
置かれている人々
への支援
- 12 相談業務の充実

基本目標5

生涯を通じた
健康支援

- 13 心とからだの健康
づくりへの支援
- 14 妊娠・出産等に関
する健康支援
- 15 女性特有の疾患に
対する支援

基本目標6

暴力の根絶の
ための基盤づくり

(あま市DV防止基本計画)

- 16 暴力の根絶に向けた
意識啓発
- 17 女性特有の疾患に対
する支援
- 18 被害者の実情に応じ
た切れ目のない支援
体制の充実

プランに基づく施策の事業数と評価

※それぞれの基本目標の再掲も含む

	総事業数	評価数				
		A	B	C	D	E
		かなり取り組めた	取り組めた	ある程度取り組めた	あまりできなかった	事業未実施
		100%以上	70%以上100%未満	40%以上70%未満	40%未満	
基本目標1						
男女共同参画の理解の促進	23	17	5	1	0	0
基本目標2						
男女平等意識を育てる教育・学習の充実	14	11	2	0	0	1
基本目標3						
あらゆる分野での男女共同参画の推進	37	28	8	0	0	1
基本目標4						
様々な困難を抱える人々への支援	47	37	10	0	0	0
基本目標5						
生涯を通じた健康支援	19	18	1	0	0	0
基本目標6						
暴力の根絶のための基盤づくり	15	7	8	0	0	0
合計	155	118	34	1	0	2

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度の 方針	(参考)平成30年度実施状況		
						実施内容	評価	課題・問題点				
1. 男女共同参画の理解の促進												
		1. 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発										
			① 人権を尊重するための意識啓発と情報の提供									
			啓発パンフレットの作成	人権推進課	01	啓発パンフレット「人権週間特集号」(37,000部)を作成。全戸配布を行い、人権講演会や市内小中学校に配布した。 「人権まんが冊子(1,000部)」を作成し、市内小学校6年生に配布した。	A		継続	啓発パンフレット「人権週間特集号」(36,000部)を作成。全戸配布を行い、人権講演会や市内小中学校に配布した。 「人権まんが冊子(1,000部)」を作成し、市内小学校6年生に配布した。	A	
			広報、パンフレット、市ホームページ等による情報の提供		02	懸垂幕の掲示(人権講演会、人権週間) 啓発冊子を購入した。	A		継続	懸垂幕の掲示(人権講演会、人権週間) 啓発冊子を購入した。	A	
			人権の尊重に関する講演会、映画会、パネル展示、セミナー等の開催		03	広く市民に対し、人権問題の正しい認識と理解を深めてもらえるように講演会等を開催した。 ○人権講演会の開催 開催日 11月17日(日) 場 所 あま市甚目寺公民館 内 容 人権作文発表、創作劇「空白のカルテ」上演 劇団名古屋 参加者 432人 ○市民人権講座の開催(合計3回) ＜セミナーの開催＞ 開催日 9月24日(火) 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 「部落差別問題について考えてみよう！」 講 師 馬場 周一郎氏ジャーナリスト(元西日本新聞記者・公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特研究員) 参加者 71人(うち職員研修として32人) 開催日 2月5日(水) 場 所 あま市七宝焼アートヴィレッジ 内 容 「性的マイノリティと人権」 講 師 松岡 成子氏(NPO法人ASTA共同代表理事)他3名 参加者 51人	A		継続	広く市民に対し、人権問題の正しい認識と理解を深めてもらえるように講演会等を開催した。 ○人権講演会「つたえたいこと」の開催 開催日 11月25日(日) 場 所 美和文化会館 内 容 人権作文発表、講演、映画「あん」上映、トークショー 講 師 小鹿 美佐雄氏(国立駿河療養所入所者自治会会長) 浅田美代子氏(「あん」出演者)、 ドリアン助川氏(「あん」原作者) 参加者 550人 ○市民人権講座の開催(合計3回) ＜セミナーの開催＞ 開催日 8月21日(火) 場 所 七宝焼アートヴィレッジ 内 容 「スリランカの生活や文化を知ろう」 講 師 水谷 将之氏(2003年 青年海外協力隊 派遣隊員) 参加者 84人 開催日 9月12日(水) 場 所 美和文化会館 内 容 「がんばらない介護」 講 師 橋中 今日子氏(介護者メンタルケア協会代表)	A	

基本目標	基本方針	施策	主な取り組み	担当課	管理番号	令和元年度実施状況			令和2年度の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
						<現地学習の開催> 開催日 7月2日(水) 場 所 国立駿河療養所 内 容 講和「ハンセン病問題について」 講 師 小鹿 美佐雄氏(国立駿河療養所入所者自治会会長) 療養所内見学 参加者 29人				参加者 92人 <映画上映会> 開催日 2月6日(水) 場 所 美和文化会館 内 容 概要説明(政府・拉致被害者等支援室 櫻井真典主査) 映画上映「めぐみ-引き裂かれた家族の30年」 参加者 180人	
		②男女共同参画に関する理解を深めるための意識啓発と情報の提供									
			啓発パンフレットの作成	人権推進課	04	女性活躍情報誌(36,100部)を作成し、全戸配布を行った。	A		継続	女性活躍情報誌(35,680部)を作成し、全戸配布を行った。	A
			広報、パンフレット、市ホームページ等による情報の提供		05	6月広報に男女共同参画週間の記事を掲載した。	A		継続	6月広報に男女共同参画週間の記事を掲載した。ウェブサイト「男女共同参画についてもっと知ろう!」の情報を更新した。	A
			男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催		06	○男女共同参画週間において、美和文化会館にてパネル展示を実施した。 ○男女共同参画に関する川柳(平成26年～平成30年に募集)を用いたかるた(100部)を作成し、市内公共施設、小中学校に配布した。	A		継続	○男女共同参画週間において、美和文化会館にてパネル展示を実施した。 ○LGBTに関する映画上映会を開催した。 開催日 6月30日(土) 場 所 美和文化会館 映 画 「彼らが本気で編むときは、」 参加者 160人 ○男女共同参画に関する川柳を募集し、審議会にて選考された優秀作品を掲載したカレンダー(1,000個)を作成し、健康福祉まつりにおいて配布した。	A
			図書館における関連図書、資料の情報提供	生涯学習課	07	男女共同参画に関する書籍を購入して貸出しを行い、啓発活動を推進した。	B		継続	男女共同参画に関する書籍を購入して貸出しを行い、啓発活動を推進した。	B

基本目標	基本方針	施策	主な取り組み	担当課	管理番号	令和元年度実施状況			令和2年度の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			③ 男性の意識改革や家事参加に向けた取組								
			意識改革のためのセミナーの開催や男性を対象とした家事参加型講座の開催	人権推進課生涯学習課	08	女性のための起業セミナーを開催した。 開催日 10月5日(土)、11月2日(土)、12月7日(土) 場 所 美和公民館 内 容 女性のための起業セミナー 講 師 安田 真浪氏(株式会社トライアングル・トラスト代表取締役) 参加者 10月5日(土)24人 11月2日(土)22人 12月7日(土)12人 開催日 2月1日(土) 場 所 甚目寺公民館 内 容 親子で日曜大工 講 師 川合 英治氏(NPO法人海賊船代表理事) 参加者 親子 9組19名	B	一部廃止 (当該講座(おやこであ・そ・ぼ)が業務委託先の実施計画から外れたため)	男女共同参画家事等実践講座を開催した。 開催日 5月19日(土) 場 所 美和公民館 内 容 男性のための料理教室 講 師 後藤 かをり氏(有限会社フードオフィスタブリエ代表) 参加者 15人 開催日 9月1日(土) 場 所 甚目寺公民館 内 容 親子で日曜大工 講 師 川合 英治氏(NPO法人海賊船代表理事) 参加者 親子 10組 DV防止セミナーを開催した。 開催日 11月14日(水) 場 所 美和文化会館 内 容 DV加害者の実態と更生 ～DV被害者支援を目的に加害者の実体を知る～ 講 師 山口 のり子氏(アウェア代表) 参加者 86人 家庭でも実践できる子どもとのふれあいの参加型講座を開催した。 おやこであ・そ・ぼ 開催日 7月17日(火) 場 所 美和公民館 参加者 9組18名	B	
	2. 子どもにとっての男女共同参画										
			④ 子どものころからの男女共同参画の理解の推進								
			人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施	学校教育課	09	総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施した。	A		継続	総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施した。	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度の 方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			⑤ 地域で子どもを育てる環境の整備								
			おはこんあいさつ運動の 推進	安全安心課	10	犯罪をしようとする者は地域住民と目が合ったり、あいさつされたりすると犯罪を諦める傾向があることから、地域内の随所に啓発プレート を掲出し、住民が互いに積極的なあいさつを交わすことで、犯罪者を 寄せ付けない地域づくりを推進した。	B		継続	犯罪をしようとする者は地域住民と目が合ったり、あいさつされたりすると犯罪を諦める傾向があることから、地域内の随所に啓発プレート を掲出し、住民が互いに積極的なあいさつを交わすことで、犯罪者を 寄せ付けない地域づくりを推進した。	A
			子どもの防犯教室の開催	子育て支援課 安全安心課	11	安全安心課、津島警察署と協力して防犯教室を支援を行った。防 犯に関する子ども向けDVDの鑑賞、警察署員による「つみきおに」や 「いかのおすし」など、防犯用語に関する話を聞いた。 市内の6箇所の児童館及び子どもを含めた秋竹地区住民対象の防 犯教室開催を支援した。また、自転車の二重ロック推進については、 新中学生に啓発品の配布をした。	A		継続	安全安心課、津島警察署と協力して防犯教室を支援を行った。防 犯に関する子ども向けDVDの鑑賞、警察署員による「つみきおに」や 「いかのおすし」など、防犯用語に関する話を聞いた。 市内の6箇所の児童館及び子どもを含めた秋竹地区住民対象の防 犯教室開催を支援した。また、自転車の二重ロック推進については、 新中学生に啓発品の配布をした。	A
			通学路こども110番の家の 普及	学校教育課	12	毎年地域に理解を頂き、子ども110番の家が増えるよう努力した。	C		継続	毎年地域に理解を頂き、子ども110番の家が増えるよう努力した。	A
			通学時の防犯や交通安 全に関する意識を高め る教育の実施		13	校区ハザードマップの作成など、総合的な学習で取り組んだ。 キッズ防犯教室を市内12小学校で開催し、防犯教育に努めた。	A		継続	校区ハザードマップの作成など、総合的な学習で取り組んだ。 キッズ防犯教室を市内12小学校で開催し、防犯教育に努めた	A
			登下校時の通学路にお ける街頭指導や防犯パ トロールの実施		14	教職員と見守り隊によるパトロールを強化した。	B		継続	教職員と見守り隊によるパトロールを強化した。	A
			小学校入学児童への防 犯ブザーの配布		15	小学校の新1年生を対象に登下校中における児童の安全を確保す るため防犯ブザーを配布した。	A		継続	小学校の新1年生を対象に登下校中における児童の安全を確保す るため防犯ブザーを配布した。	A

基本目標	基本方針	施策	主な取り組み	担当課	管理番号	令和元年度実施状況			令和2年度の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
		⑥ 児童虐待等の早期発見と未然防止									
		妊娠中の不安の軽減のための家庭訪問、出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施	健康推進課	16	妊婦13人、こんにちは赤ちゃん家庭訪問事業650人、産婦652人を訪問	A		継続	妊婦10人、乳児672人、幼児168人、産婦635人を訪問	A	
				乳幼児健康診査の実施	17	○乳児健診 受診者数619人 (甚目寺保健センター22回・七宝保健センター11回・美和保健センター11回) ○1歳6か月児健診 受診者数686人 (甚目寺保健センター19回・七宝保健センター6回・美和保健センター7回) ○3歳児健診 受診者数679人 (甚目寺保健センター18回・七宝保健センター6回・美和保健センター8回) ○2歳児歯科健診 受診者数644人 (甚目寺保健センター11回・七宝保健センター5回・美和保健センター6回)		A	継続 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月末まで見合わせ)	○乳児健診 受診者数708人 (甚目寺保健センター22回・七宝保健センター12回・美和保健センター12回) ○1歳6か月児健診 受診者数683人 (甚目寺保健センター19回・七宝保健センター6回・美和保健センター7回) ○3歳児健診 受診者数736人 (甚目寺保健センター20回・七宝保健センター7回・美和保健センター9回) ○2歳児歯科健診 受診者数630人 (甚目寺保健センター12回・七宝保健センター6回・美和保健センター6回)	A
		保護者の悩みに対応するための家庭児童相談員の配置	子育て支援課	18	相談室を別室に設置し、家庭児童相談員を配置した。 児童相談件数 77件 うち虐待に関するもの 54件	A		継続	相談室を別室に設置し、家庭児童相談員を配置した。 児童相談件数 96件 うち虐待に関するもの 59件	A	
		スクールカウンセラーや心の相談員の配置	学校教育課	19	学校支援会議を開き、スクールカウンセラー・相談員(市雇用)を派遣。	B		継続	学校支援会議を開き、スクールカウンセラー・相談員(市雇用)を派遣。	A	
		教育相談センターの設置		20	不登校等の問題を抱える児童生徒への対応及び解消のために、家庭訪問等を実施するなど教育相談員の職務を拡充した。	A	継続	不登校等の問題を抱える児童生徒への対応及び解消のために、家庭訪問等を実施するなど教育相談員の職務を拡充した。	C		

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度の 方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			あま市いじめ問題対策連絡協議会等条例などに基づく、いじめ防止等に向けた取組の推進		21	あま市小中学校児童生徒のいじめ及び不登校対策の推進・指導・連携を強化・充実させることを目的に、各関係機関・団体との意見交換・情報共有等をおこなった。 あま市いじめ問題対策連絡協議会 1回開催 ・開催期日 10月1日(火) ・出席団体 海部児童・障害者相談センター、東部地区人権擁護委員会、津島警察署。小中学校代表者、あま市教育相談センター、あま市教育委員会 あま市いじめ・不登校対策協議会 2回開催 ・開催期日 第1回8月26日(月)、第2回2月12日(水) ・出席団体 あま市教育相談センター、市内17小中学校代表者、あま市教育委員会	A		継続	あま市小中学校児童生徒のいじめ及び不登校対策の推進・指導・連携を強化・充実させることを目的に、各関係機関・団体との意見交換・情報共有等をおこなった。 あま市いじめ問題対策連絡協議会 1回開催 ・開催期日 9月27日(木) ・出席団体 海部児童・障害者相談センター、東部地区人権擁護委員会、津島警察署。小中学校代表者、あま市教育相談センター、あま市教育委員会 あま市いじめ・不登校対策協議会 2回開催 ・開催期日 第1回8月7日(火)、第2回2月19日(火) ・出席団体 あま市教育相談センター、市内17小中学校代表者、あま市教育委員会	A
			児童虐待の早期発見と未然防止に向けた総合的な支援体制の整備	子育て支援課 健康推進課 学校教育課	22	教育相談員の巡回指導を実施。学校の要請に応じて、学校支援会議を開催した。 ・学校支援会議 3回開催 保育園児や小中学生の保護者、民生・児童委員、保育園や小中学校の教職員に参加を募り、児童虐待の発生予防を目的とした講演会を開催した。 開催日 11月16日(土) 参加者 70人 あま市要保護児童対策地域協議会を開催し、各機関との連携を図った。継続指導が必要な事例や複雑な事例については実務者会議や個別ケース検討会議で各機関と情報を共有、対応を協議した。 あま市要保護児童対策地域協議会 1回開催 同実務者会議 12回開催 個別ケース検討会議 3回開催 また、あま市虐待等防止ネットワーク協議会実務者会議に参加し、児童虐待に限らず高齢者や障害者への虐待に関する事例についても研究した。 あま市虐待等防止ネットワーク協議会 1回 同実務者会議 6回	A		継続	教育相談員の巡回指導を実施。学校の要請に応じて、学校支援会議を開催した。 保育園児や小中学生の保護者、民生・児童委員、保育園や小中学校の教職員に参加を募り、児童虐待の発生予防を目的とした講演会を開催した。 開催日 11月17日(土) 参加者 83人 あま市要保護児童対策地域協議会を開催し、各機関との連携を図った。継続指導が必要な事例や複雑な事例については実務者会議や個別ケース検討会議で各機関と情報を共有、対応を協議した。 あま市要保護児童対策地域協議会 1回開催 同実務者会議 12回開催 個別ケース検討会議 4回開催 また、あま市虐待等防止ネットワーク協議会実務者会議に参加し、児童虐待に限らず高齢者や障害者への虐待に関する事例についても研究した。 あま市虐待等防止ネットワーク協議会 1回 同実務者会議 6回	A
			児童虐待防止に向けた啓発パンフレット等の作成・配布	子育て支援課 人権推進課	23	虐待等防止ネットワーク協議会のアドレス入りポケットティッシュを作成し、国県が作成した児童虐待防止に関する啓発物品と合わせて街頭啓発活動等で配布した。 街頭啓発活動 3回 児童虐待に関する講演会 1回	A		継続	虐待等防止ネットワーク協議会のアドレス入りポケットティッシュを作成し、国県が作成した児童虐待防止に関する啓発物品と合わせて街頭啓発活動等で配布した。 街頭啓発活動 3回	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
2. 男女平等意識を育てる教育・学習の充実											
3. 教育の場における教育・学習の充実											
⑦ 男女平等の意識を育てるための教育の充実											
		学校教育課	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施【再掲1-2-④】	24	総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施した。	A		継続	総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施した。	A	
			人権尊重の精神を身につけるための道徳教育の実施	25	道徳の時間を充実させ、実践活動を実施した。そのための研修会を実施した。	A		継続	道徳の時間を充実させ、実践活動を実施した。そのための研修会を実施した。	B	
			近年の情報化の背景を踏まえ、メディアリテラシー※の向上を図るための教育の実施	26	情報モラル教育を徹底して行った。外部講師を招いて学習会を実施した。	A		継続	情報モラル教育を徹底して行った。外部講師を招いて学習会を実施した。	B	
			児童生徒の発達段階に合わせた性に関する指導	27	保健学習を通して、年齢に応じた「生命の授業」を開催した。	B		継続	保健学習を通して、年齢に応じた「生命の授業」を開催した。	B	
		※メディアリテラシー……3つの構成要素とする、複合的な能力のこと。①メディアの情報を主体的に読み解く能力。②メディアにアクセスし、活用する能力。③メディアを通じコミュニケーションする能力。									
		人権推進課 子育て支援課	保育園における人権擁護委員による園児とのふれあいの実施	28	園児と委員のふれあい会 開催日 6月14日(金) 場 所 大治南保育園 保育園人権教室 園児への人権保育、職員の人権に対する意識を高めるため、人形劇・クイズを行ったり、マスコット人形(人権まもる君等)とのふれあいを実施した。 開催日 10月24日(木) 場 所 9:15～10:15 萱津保育園(56名参加) 10:35～11:20 昭和保育園(192名参加) 13:30～14:15 正則保育園(85名参加)	A		継続 (令和2年度は 10月27日実施 予定)	保育園人権教室 開催日 10月16日(火) 場 所 五条保育園、新居屋保育園、篠田保育園	A	

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			命の大切さを育む「人権 の花運動」の実施	人権推進課	29	咲かせよう人権の花運動を実施し、花の球根(チューリップ、ゆり)を 植え付け、花を育てる体験を通じて人への思いやり、心の優しさを育 んだ。 開催日 11月12日(火) 場 所 秋竹小学校 参加者 1年生23人 人権講演会や人権週間に花の種を配布し、人権意識の高揚を図っ た。	A		継続	咲かせよう人権の花運動を実施し、花の球根(チューリップ、ゆり)を 植え付け、花を育てる体験を通じて人への思いやり、心の優しさを育 んだ。 開催日 5月28日(月)、11月1日(木) 場 所 篠田小学校 参加者 2～6年生300人、1年生55人 人権講演会や人権週間に花の種を配布し、人権意識の高揚を図っ た。	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			⑧ 教職員、保育者の人権意識を高めるための学習機会の充実								
			あま市人権研究推進委員会による人権教育に関する調査・研究の実施	学校教育課	30	あま市小中学校人権教育研究会の研究推進委員が中心となり、研究紀要の作成、及び人権教育講演会開催に取り組んだ。	A		継続	あま市小中学校人権教育研究会の研究推進委員が中心となり、研究紀要の作成、及び人権教育講演会開催に取り組んだ。	A
			保育者を対象とした人権に関する研修の実施	子育て支援課	31	・職員人権研修会 7月11日 16:30～18:00(88名参加) ・救急講習会 6月17日 13:00～16:00(11名参加) ・救急法指導研修 5月29日・6月18日・6月26日・7月17日・8月23日・10月30日 15:45～16:45 (合計100名参加) ・療育研修会 7月4日 15:00～16:30(35名参加) ・防災研修等 8月23日 16:30～18:00(83名参加)	A		継続	・職員人権研修会 6月12日 16:30～18:00(85名参加) ・救急講習会 6月18日 13:00～16:00(14名参加) ・救急法指導研修 5月22日・6月25日・7月23日・8月27日・9月25日・10月22日 15:45～16:45 (合計106名参加) ・療育研修会 7月5日 15:00～16:30(43名参加) ・防災研修等 8月3日 16:30～18:00(90名参加)	A
			市民及び教職員等の人権意識向上を図るための人権教育講演会の開催	学校教育課 生涯学習課	32	海部地区人権教育講演会の開催を通じ、市民及び教職員の人権に対する意識を高めた。 開催日 8月2日(金) 場 所 甚目寺公民館 演 題 「生きてるだけで100点満点！」 講 師 女優・タレント 奥山 佳恵氏 参加者 680人	A		継続	海部地区人権教育講演会の開催を通じ、市民及び教職員の人権に対する意識を高めた。 開催日 8月3日(金) 場 所 甚目寺公民館 演 題 「オール1の落ちこぼれ、教師になる～いじめ、引きこもり、天涯孤独の絶望を乗り越えて～」 講 師 エッセイスト・元高校教諭・作家 宮本 延春氏 参加者 570人	B

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			4. 家庭・地域における教育・学習の充実								
			⑨ 家庭、地域における男女共同参画に関する学習機会の提供と理解の推進								
			乳幼児と親を対象とした 幼児期家庭教育講座の 開催	生涯学習課	33	幼児期家庭教育講座として10講座を開催し、延べ283人の参加があり、子育ての不安の解消を図った。	A			幼児期家庭教育講座として11講座を開催し、延べ328人の参加があり、子育ての不安の解消を図った。	B
			社会教育講座において、男女共同参画をテーマとした講座を開催		34	未実施	E		廃止 (女性を対象にしたクラシックギター講座を開催するため)	未実施	E
			親と子が一緒に参加する親子ふれあい講座等の開催	生涯学習課 子育て支援課	35	親子ふれあい講座として6講座を開催し、延べ42組の親子の参加があり、親子のふれあいの機会を設けた。	B		親子ふれあい講座として7講座を開催し、延べ58組の親子の参加があり、親子のふれあいの機会を設けた。	B	
			市民及び教職員等の人権意識向上を図るため の人権教育講演会の開催 【再掲2-3-⑧】	学校教育課 生涯学習課	36	海部地区人権教育講演会の開催を通じ、市民及び教職員の人権に対する意識を高めた。 開催日 8月2日(金) 場 所 甚目寺公民館 演 題 「生きてるだけで100点満点！」 講 師 女優・タレント 奥山 佳恵氏 参加者 680人	A		海部地区人権教育講演会の開催を通じ、市民及び教職員の人権に対する意識を高めた。 開催日 8月3日(金) 場 所 甚目寺公民館 演 題 「オール1の落ちこぼれ、教師になる～いじめ、引きこもり、天涯孤独の絶望を乗り越えて～」 講 師 エッセイスト・元高校教諭・作家 宮本 延春氏 参加者 570人	B	
男女共同参画の視点に 立った講演会、パネル 展示、セミナー等の開催 【再掲1-1-②】	人権推進課	37	○男女共同参画週間において、美和文化会館にてパネル展示を実施した。 ○男女共同参画に関する川柳(平成26～平成30年に募集)を用いたかるた(100部)を作成し、市内公共施設、小中学校に配布した。	A		継続	○男女共同参画週間において、美和文化会館にてパネル展示を実施した。 ○LGBTに関する映画上映会を開催した。 開催日 6月30日(土) 場 所 美和文化会館 映 画 「彼らが本気で編むときは、」 参加者 160人 ○男女共同参画に関する川柳を募集し、審議会にて選考された優秀作品を掲載したカレンダー(1,000個)を作成し、健康福祉まつりに おいて配布した。	A			

基本目標	基本方針	施策	主な取り組み	担当課	管理番号	令和元年度実施状況			令和2年度の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
3. あらゆる分野での男女共同参画の推進											
	5. 政策決定過程への女性の参画の拡大										
		⑩ 審議会等への男女共同参画の促進									
		審議会、委員会への女性の登用促進	関係各課	38	「あま市男女共同参画プラン」において10年後(令和3年)の審議会、委員会への女性登用率を30%に定め促進を図るため、審議会等における委員の選出時に女性の登用を推進するよう努めた。	B		継続	「あま市男女共同参画プラン」において10年後(平成33年)の審議会、委員会への女性登用率を30%に定め促進を図るため、審議会等における委員の選出時に女性の登用を推進するよう努めた。	B	
		審議会、委員会への女性の登用状況についての調査、結果公表の実施	人権推進課	39	すべての審議会などにおける女性の登用人数を調査・把握し、あま市男女共同参画事業実施状況報告書に掲載した。 女性登用率 23.3%	A		継続	すべての審議会などにおける女性の登用人数を調査・把握し、あま市男女共同参画事業実施状況報告書に掲載した。 女性登用率 23.1%	A	
		女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実施や女性リーダーの育成	人事秘書課	40	職場における女性活躍の推進に向け、女性活躍の必要性を理解し、自身のキャリアや自分らしいリーダーシップについて考え、意欲的に働き続けるためのモチベーションを高めることを目的として、「女性活躍推進研修」を実施した。 日 時:令和元年11月20日 場 所:あま市美和総合福祉センターすみれの里 受講者:27人(対象者30人)	B		継続	女性職員の管理職登用にに向けた人材育成推進を図るため、「キャリアマネジメント研修」を実施した。 日 時:11月7日 場 所:本庁舎2階大ホール及び甚目寺庁舎2階大会議室 受講者:73人(対象者78人)	B	
	⑪ 男女共同参画の推進を担う人材育成										
	愛知県男女共同参画人材育成セミナーへの受講候補者の推薦	人権推進課	41	隔年のため未実施。	E		継続	人材育成セミナーへ1名候補者を推薦した。	B		
	6. 様々な分野における男女共同参画の拡大										
		⑫ 男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実									
		女性消防クラブ活動への支援	安全安心課	42	啓発活動や消防行事、勉強会の実施、海部東部消防署の活動協力などを通して、火災予防の普及及び消防に関する知識の向上が図れた。	B		継続	啓発活動や消防行事、勉強会の実施、海部東部消防署の活動協力などを通して、火災予防の普及及び消防に関する知識の向上が図れた。	A	
交通安全を推進する女性運転者友の会への支援		43		女性の視点で交通安全の啓発に取り組む女性運転者友の会に対し、活動の場を提案する。市立保育園での交通安全紙芝居、敬老会で高齢者に向けた反射材啓発、駅や市内商業施設周辺で啓発品を配布した。	A		継続	女性の視点で交通安全の啓発に取り組む女性運転者友の会に対し、活動の場を提案する。市立保育園での交通安全紙芝居、敬老会で高齢者に向けた反射材啓発、駅や市内商業施設周辺で啓発品を配布した。	A		

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			地域活動団体への助成	企画政策課	44	地域で抱える社会的な課題の解決やより良い市民生活を実現するため、地域活動団体(13団体)及び市民活動団体(2団体)が実施した事業に対し、補助金を交付した。	A		継続	地域で抱える社会的な課題の解決やより良い市民生活を実現するため、地域活動団体(13団体)及び市民活動団体(2団体)が実施した事業に対し、補助金を交付した。	A
			地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供		45	地域で活動する市民活動団体の拠点となる施設として「あま市市民活動センター」を中心として、市民活動に関する情報、団体等の連携・交流の場の提供を行うとともに、「市民活動祭」を始めとした交流事業を通じて、地域活動団体及び市民活動団体の活動状況を広く周知し、参加した市民や団体の交流の場を提供した。(開催:10月26日、約2,200人参加)	A		継続	地域で活動する市民活動団体の拠点となる施設として「あま市市民活動センター」を中心として、市民活動に関する情報、団体等の連携・交流の場の提供を行うとともに、「市民活動祭」を始めとした交流事業を通じて、地域活動団体及び市民活動団体の活動状況を広く周知し、参加した市民や団体の交流の場を提供した。(開催:10月6日、約1,000人参加)	A
			社会教育活動を担う女性団体への支援	生涯学習課	46	あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図った。 ○夏まつり盆踊り練習会 開催日 7月6日(土) 場 所 甚目寺公民館 参加者 約100人 ○主催講座「みんなで楽しくマクラメ編み」 開催日 10月16・23日(水) 場 所 甚目寺公民館 参加者 13人 ○主催講座「干支の木目込人形作り」 開催日 11月12・19日(火) 場 所 甚目寺公民館 参加者 24人 ○愛知県地域婦人団体活動事例発表大会 開催日 令和2年1月24日(木) 場 所 愛知県女性総合センター(ウィルあいち) 参加者 18人 ○交流イベント「クラフトバンドで小物作り」 開催日 2月27日(木) 場 所 甚目寺公民館 参加者 60名	B		継続	あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図った。 ○夏まつり盆踊り練習会 開催日 7月7日(土) 場 所 甚目寺公民館 参加者 約100人 ○主催講座「みんなで楽しく小物づくり」 開催日 9月20・27日(木) 場 所 甚目寺公民館 参加者 20人 ○主催講座「干支の木目込人形作り」 開催日 11月13・20日(火) 場 所 甚目寺公民館 参加者 20人 ○愛知県地域婦人団体活動事例発表大会 開催日 平成31年1月31日(木) 場 所 愛知県女性総合センター(ウィルあいち) 参加者 19人	B
			⑬ 防災分野における男女共同参画の推進								
			市の防災会議への女性の登用	安全安心課	47	女性の委員を任用し、防災会議において女性目線の意見を取り入れた。	A		継続	女性の委員を任用し、防災会議において女性目線の意見を取り入れた。	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
	7. ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組										
		⑭ ワーク・ライフ・バランスの普及啓発									
		ワーク・ライフ・バランスの必要性に関する情報提供や普及啓発	人権推進課	48	女性活躍情報誌(36,100部作成)で、女性の活躍におけるワーク・ライフ・バランスについて掲載した。	A		継続	女性活躍情報誌(35,650部作成)で、女性の活躍におけるワーク・ライフ・バランスについてのページとあま市の取組について掲載した。	A	
		休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知	産業振興課	49	市ウェブサイトによる情報提供を行った。 改正育児・介護休業法	A		継続	市ウェブサイトによる情報提供を行った。 改正育児・介護休業法	A	
		県で登録をされたファミリー・フレンドリー企業の紹介		50	市ウェブサイトにおいてファミリー・フレンドリー企業等の情報提供を行った	A		継続	市ウェブサイトにおいてファミリー・フレンドリー企業等の情報提供を行った。	A	
	⑮ 多様な保育サービスの充実										
			産前産後休暇、育児休業終了後の就労に対応した低年齢児保育事業の実施	子育て支援課	51	産前産後休業や育児休業終了後の就労に対応するため、低年齢児の保育を実施。 産休明けから実施 4か所 利用者数 51人 満6か月から実施 2か所 利用者数 26人 満10か月から実施 6か所 利用者数 31人	A		継続	産前産後休業や育児休業終了後の就労に対応するため、低年齢児の保育を実施。 産休明けから実施 4か所 利用者数 54人 満6か月から実施 2か所 利用者数 26人 満10か月から実施 6か所 利用者数 37人	A
			保護者の就労時間の多様化に対応した延長保育事業の実施		52	保護者からの保育ニーズに対応するため、通常保育時間を超えた保育を実施した。 実施箇所数 12か所 開所時間 7:30～19:00 (1園のみ7:00～19:00) 利用人数 1,061人 (7:30(7:00)～8:00、 16:00～19:00)	A		継続	保護者からの保育ニーズに対応するため、通常保育時間を超えた保育を実施した。 実施箇所数 12か所 開所時間 7:30～19:00 (1園のみ7:00～19:00) 利用人数 868人 (7:30(7:00)～8:00、 16:00～19:00)	A
			保護者の就労、疾病など一時的に保育が必要なときに利用できる一時預かり事業の実施		53	保護者の疾病その他の理由により家庭において保育されることが一時的に困難となった乳児又は幼児につき、保育所等において一時的に保育を行った。 実施箇所数 4か所 利用人数 4,262人	A		継続	保護者の疾病その他の理由により家庭において保育されることが一時的に困難となった乳児又は幼児につき、保育所等において一時的に保育を行った。 実施箇所数 5か所 利用人数 4,938人	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			出産、育児休業後スムーズに復職できるように育児休業あけ予約事業の実施	子育て支援課	54	令和元年度途中に保護者が育児休業から復職する児童の保育所途中入所予約を受け付けた。 令和元年度途中入所予約件数 53件	A		継続	平成30年度途中に保護者が育児休業から復職する児童の保育所途中入所予約を受け付けた。 平成30年度途中入所予約件数 58件	A
	集団保育が可能な障がい児保育の実施		55		軽・中程度の集団保育が可能な障がい児の保育を実施。 公立保育園 9園実施 私立認定こども園 3園実施 軽・中程度の障がい児数 合計76名	A		継続	軽・中程度の集団保育が可能な障がい児の保育を実施。 公立保育園 9園実施 私立認定こども園 3園実施 軽・中程度の障がい児数 合計79名	A	
	病児・病後児保育の実施		56		保護者の就労等のために家庭で保育等ができない児童で病気または病気の回復期にあり、集団での保育等が困難な児童を一時的にお預かりした。 あま市民病院内 登録者数 160名(市外含) 利用者数 244名(市外含)	A		拡充	保護者の就労等のために家庭で保育等ができない児童で病気または病気の回復期にあり、集団での保育等が困難な児童を一時的にお預かりした。 登録者数 141名(市外含) 利用者数 163名(市外含)	A	
	子育てコンシェルジュ事業の実施		57		平成29年5月1日より実施。 妊娠期・子育て期における様々な悩みについての相談を受けて、適切な子育て支援サービスへの情報提供、助言等を専門に行う子育てコンシェルジュを配置。 相談件数 512件	A		継続	平成29年5月1日より実施。 妊娠期・子育て期における様々な悩みについての相談を受けて、適切な子育て支援サービスへの情報提供、助言等を専門に行う子育てコンシェルジュを配置。 相談件数 635件	A	
		⑯ 地域における子育て支援の環境づくり									
			ファミリー・サポート・センター事業の推進	子育て支援課	58	平成26年7月から大治町と合同で事業を実施している。 会員が安心して育児に関する相互援助を行えるよう、事務局では会員を対象に育児に関する知識・技術を身につけるための研修会・会報誌の発行等を実施した。 会員数934名(あま市685名、大治町249名) 活動件数2,045件(あま市1,683件、大治町362件、内両住民による援助活動件数278件) 援助会員養成講座2回、依頼会員登録説明会12回、活動報告・スキルアップ研修2回、交流会1回、情報交換会1回、会報誌発行2回実施した。	A	援助会員の確保	継続	平成26年7月から大治町と合同で事業を実施している。 会員が安心して育児に関する相互援助を行えるよう、事務局では会員を対象に育児に関する知識・技術を身につけるための研修会・会報誌の発行等を実施した。 会員数846名(あま市609名、大治町237名) 活動件数1735件(あま市1241件、大治町494件、内両住民による援助活動件数309件) 援助会員養成講座3回、依頼会員登録説明会12回、活動報告・スキルアップ研修2回、交流会1回、情報交換会1回、会報誌発行2回実施した。	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
		⑰ 放課後児童対策の実施									
			放課後児童クラブや放課後子ども教室の実施	子育て支援課	59	【放課後児童クラブ】 保護者が労働などで昼間家庭にいない小学生児童に対し放課後児童クラブを実施した。 27か所設置 1～6年生 747人 【放課後子ども教室】 市内の小学校を利用して放課後子ども教室を実施した。 七宝地区 2小学校 各校年10回実施 利用者数 15人 美和地区 4小学校 各校年13回実施 利用者数 105人 甚目寺地区 2小学校 毎週月から金実施 利用者数 139人	A	放課後児童支援員の確保 放課後子ども教室スタッフの確保	拡充 七宝、宝小学校を新設する。	【放課後児童クラブ】 保護者が労働などで昼間家庭にいない小学生児童に対し放課後児童クラブを実施した。 27か所設置 1～6年生 847人 【放課後子ども教室】 市内の小学校を利用して放課後子ども教室を実施した。 美和地区 4小学校 各校年13回実施 利用者数 96人 甚目寺地区 2小学校 毎週月から金実施 利用者数 142人	B
		⑱ 障がいのある子どもへのサービスの充実									
			放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施	社会福祉課	60	放課後等デイサービス及び日中一時支援事業を活用し。就学児の就学時間外の支援の場の確保を図った。 放課後等デイサービス利用者262人／月 日中一時支援事業利用者107人／月	B		継続	放課後等デイサービス及び日中一時支援事業を活用し。就学児の就学時間外の支援の場の確保を図った。 放課後等デイサービス利用者239人／月 日中一時支援事業利用者93人／月	B
		⑲ 介護保険制度の周知とサービスの充実									
			広報や市公式ウェブサイト、介護サービスガイドブック等による介護予防事業や居宅サービスの周知	高齢福祉課	61	介護保険サービスや高齢者に関するパンフレットを窓口に配置した。	A		継続	介護保険サービスや高齢者に関するパンフレットを窓口に配置した。	A
			介護予防事業の推進	高齢福祉課 健康推進課 人権推進課	62	○65歳以上の方(要介護認定者を除く)を対象に介護予防教室や健康相談を行う。 対象者:65歳以上 ○筋力アップクラブ 参加者延1,371人 (ストレッチ体操、甚目寺区内の憩いの家・七宝保健センターで1回／月) ○はつらっクラブ 参加者延1,353人 (軽体操・栄養と口腔の健康の講話、3保健センターとコミュニティセンターで1回／月) ○転倒骨折予防を目的としたストレッチや体操の実施	A		継続 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月末まで見合わせ)	○65歳以上の方(要介護認定者を除く)を対象に介護予防教室や健康相談を行う。 対象者:65歳以上 ○筋力アップクラブ 参加者延1,558人 (ストレッチ体操、甚目寺地区内の憩いの家・七宝保健センターで1回／月) ○はつらっクラブ 参加者1,041人 (軽体操・栄養と口腔の健康の講話、3保健センターとコミュニティセンターで1回／月) ○転倒骨折予防を目的としたストレッチや体操の実施	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			②⑩ 介護者への支援の充実								
			「介護者のつどい」による介護者への支援	高齢福祉課	63	「介護者のつどい」 甚目寺総合福祉会館 毎月第4月曜日 (延べ参加人数30人) 七宝総合福祉センター 奇数月第2火曜日 (延べ参加人数6人) 美和総合福祉センター 偶数月第1月曜日 (延べ参加人数46人)	B	参加人数の少ない地区がある。	継続	「介護者のつどい」 甚目寺総合福祉会館 毎月第4月曜日 (延べ参加人数34人) 七宝総合福祉センター 奇数月第2火曜日 (延べ参加人数7人) 美和総合福祉センター 偶数月第1月曜日 (延べ参加人数44人)	B
			交流の場である「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」の設置	高齢福祉課	64	●地域包括支援センター主催 ・GHあま恵寿荘(毎月第3金曜日) 【述べ参加人数325人】 ・甚目寺総合福祉会館(毎月第2火曜日) 【述べ参加人数223人】 ●地域が主催 ・コミュニティプラザ萱津(毎月第4木曜日) 【述べ参加人数210人】 ・伊福地区集会場(毎月最終木曜日) 【述べ参加人数565人】 ・下萱津コミュニティ防災センター(毎月第4月曜日) 【述べ参加人数172人】 ・甚目寺公民館(毎月第2火曜日) 【述べ参加人数286人】 ・JA美和支店(偶数月1回) 【述べ参加人数200人】 ・JA甚目寺支店(毎月第1金曜日) 【述べ参加人数269人】 ・新居屋 憩の家(毎月第3月曜日) 【述べ参加人数91人】 ・グループホーム ポプラ(毎月第2土曜日) 【述べ参加人数32人】	B	あま市の人口や面積規模を考えると今後さらに開催場所を増やしていく必要があるが、場所や人材がすぐには確保できない。	継続	●地域包括支援センター主催 ・GHあま恵寿荘(毎月第3金曜日) 【述べ参加人数345人】 ・甚目寺総合福祉会館(毎月第2火曜日) 【述べ参加人数203人】 ●地域が主催 ・コミュニティプラザ萱津(毎月第4木曜日) 【述べ参加人数246人】 ・伊福集会場(毎月最終木曜日) 【述べ参加人数542人】 ・下萱津コミュニティ防災センター(毎月第4月曜日) 【述べ参加人数190人】	A
			②⑪ 男性が家庭・地域に参画しやすい職場環境づくりの推進								
			男性職員の育児休暇取得の促進	人事秘書課	65	あま市職員へ制度内容を周知した。	B	育児参加休暇(出産予定日の6週間から出産日の8週間までの期間内で、5日まで取得可能)の取得実績はあるが、育児休業(子が3歳となるまで取得可能)の取得実績が少ない。	継続	あま市職員へ制度内容を周知した。	B
		休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知 【再掲3-7-⑭】	産業振興課	66	市ウェブサイトによる情報提供を行った。 改正育児・介護休業法	A		継続	市ウェブサイトによる情報提供を行った。 改正育児・介護休業法	A	

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
	8. 誰もが働きやすい職場環境づくり										
		② 男女の雇用平等に向けた啓発、情報提供									
			男女の均等な雇用機会 と待遇の確保を図る法 令・制度の周知	産業振興課	67	市ウェブサイトによる情報提供を行った。 男女雇用機会均等法 育児・介護休業法 巡回労働相談のご案内等の掲載	A		継続	市ウェブサイトによる情報提供を行った。 男女雇用機会均等法 育児・介護休業法 巡回労働相談のご案内等の掲載	A
			女性の再就職のための セミナー等の情報提供	人権推進課	68	女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口に配布した。 女性活躍交流会を開催した。 開催日 2月22日(土) 場 所 七宝焼アートヴィレッジ 内 容 女性活躍情報誌で紹介した方のディスカッション ゲスト 武舎 妙子氏 田中 美奈氏 松下 亜美氏 参加者 18人	A		継続	女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口に配布した。 女性活躍交流会を開催した。 開催日 3月16日(木) 場 所 あまテラスカフェ(七宝産業会館) 内 容 女性活躍情報誌で紹介した方のディスカッション ゲスト 川原 史子氏 田村 有紀氏 渡邊 みづえ氏 参加者 24人	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況		令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況		
						実施内容	評価 課題・問題点				
		②③ 職域の拡大									
		性別に捉われない人事 管理の推進	人事秘書課	69	職員の能力に応じた適正な配置を行った。	A		継続	職員の能力に応じた適正な配置を行った。	B	
		②④ 商工業、農業等自営における男女共同参画の推進									
		家族経営における適正 な労働時間や休日の確保等、就業条件の整備 についての普及・啓発	産業振興課	70	海部農林水産事務所農業改良普及課の部会等において資料を配布し、対象となる世帯に個別に推進した。	A		継続	広報にて女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日～25日)の説明を掲載するとともに、美和文化会館にてパネル展を実施した。 巡回労働相談の周知を行った。	A	
		農業における家族経営 協定の締結の促進		71	海部農林水産事務所農業改良普及課の部会等において資料を配布し、対象となる世帯に個別に推進した。	A		継続	海部農林水産事務所農業改良普及課の部会等において資料を配布し、対象となる世帯に個別に推進した。	A	
	②⑤ 働きやすい職場環境の整備										
			巡回労働相談の実施	産業振興課	72	労使間のトラブル、待遇の問題、セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントなどの労働問題全般についての相談を行った。 相談開催 月1回 相談件数 0件	A		継続	労使間のトラブル、待遇の問題、セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントなどの労働問題全般についての相談を行った。 相談開催 月1回 相談件数 3件	A
		特定社会保険労務士に よる派遣労働相談	73		事業主を対象に、社会保険労務士を派遣し、雇用する労働者の休業、雇用問題、年金相談、労使間のトラブル、労働条件の整備等の相談に応じた。 随時 相談件数 3件	A		継続	事業主を対象に、社会保険労務士を派遣し、雇用する労働者の休業、雇用問題、年金相談、労使間のトラブル、労働条件の整備等の相談に応じた。 随時 相談件数 8件	A	
			広報等によるハラスメントに関する情報提供	人権推進課 産業振興課	74	広報にて女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日～25日)の説明を掲載するとともに、甚目寺庁舎にてパネル展を実施した。 巡回労働相談の周知を行った。	A		継続	広報にて女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日～25日)の説明を掲載するとともに、美和文化会館にてパネル展を実施した。 巡回労働相談の周知を行った。	A

基本目標	基本方針	施策	主な取り組み	担当課	管理番号	令和元年度実施状況			令和2年度の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
4. 様々な困難を抱える人々への支援											
9. 高齢者、障がい者、外国人等への支援											
	②⑥ 高齢者の社会参画促進										
			生涯学習やスポーツ活動に参加できる機会の充実	生涯学習課 スポーツ課	75	高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として実施した。 はつらつ健康教室～シニア運動教室～ 開催日 10月3日(土)～12月12日(土) 場 所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ 回 数 8回 参加者 10人 60歳以上の在住、在勤の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を図った。 ○シルバーカレッジ 期 間:6月8日(土)から令和2年2月8日(土)まで(全21コマ) 場 所:美和文化会館シルバーカレッジ教室他 入学生:36名 卒業生:36名	A		継続	高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として実施した。 はつらつ健康教室～シニア運動教室～ 開催日 10月6日(土)～12月13日(土) 場 所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ 回 数 8回 参加者 10人 60歳以上の在住、在勤の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を図った。 ○シルバーカレッジ 期 間:5月26日(土)から平成31年2月2日(土)まで(全25コマ) 場 所:美和文化会館シルバーカレッジ教室他 入学生:39名 卒業生:35名	A
			シルバー人材センターへの支援		76	シルバー人材センターの運営費補助をすることで、高齢者の生きがい活動に寄与した。	A		継続	シルバー人材センターの運営費補助をすることで、高齢者の生きがい活動に寄与した。	A
			ボランティア活動の啓発による社会参加の促進	高齢福祉課	77	認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解と支え合い、見守りの意識向上を図った。 養成者1,349人 さらに、認知症サポーター養成講座を受けた方の中で、認知症の方や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域づくりにご協力して下さる方に登録をしてもらい、登録者に対し認知症の理解を深めてもらうため、研修会や登録者同士の交流や情報交換を行った。 ・認知症講演会 8月26日実施 (参加人数 75人) ・キャラバンメイト連絡会 5月15日実施 (参加人数 13人) 10月10日実施 (参加人数 17人) ・認知症サポーターフォローアップ講座 7月12日実施 (参加人数 12人)	B	ボランティア意識のある人たちの高齢化が進んでおり、次世代への意識づけが課題。	継続	認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解と支え合い、見守りの意識向上を図った。 養成者1, 473人 さらに、認知症サポーター養成講座を受けた方の中で、認知症の方や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域づくりにご協力して下さる方に登録をしてもらい、登録者に対し認知症の理解を深めてもらうため、研修会や登録者同士の交流や情報交換を行った。 ・認知症講演会 8月20日実施 (参加人数 68人) ・認知症サポーター意見交換会 七宝地区:11月5日実施 (参加人数 6人) 美和地区:11月20日実施 (参加人数 8人) 甚目寺地区:12月12日実施 (参加人数 5人)	B

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			② 高齢者の生活自立のための取組								
			介護予防事業の推進 【再掲3-7-⑨】	高齢福祉課 健康推進課 人権推進課	78	○65歳以上の方(要介護認定者を除く)を対象に介護予防教室や健康相談を行う。 対象者:65歳以上 ○筋力アップクラブ 参加者延1,371人 (ストレッチ体操、甚目寺区内の憩いの家・七宝保健センターで1回／月) ○はつらつクラブ 参加者延1,353人 (軽体操・栄養と口腔の健康の講話、3保健センターとコミュニティセンターで1回／月) ○転倒骨折予防を目的としたストレッチや体操の実施	A		継続 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月末まで見合わせ)	○65歳以上の方(要介護認定者を除く)を対象に介護予防教室や健康相談を行う。 対象者:65歳以上 ○筋力アップクラブ 参加者延1,558人 (ストレッチ体操、甚目寺地区内の憩いの家・七宝保健センターで1回／月) ○はつらつクラブ 参加者1,041人 (軽体操・栄養と口腔の健康の講話、3保健センターとコミュニティセンターで1回／月) ○転倒骨折予防を目的としたストレッチや体操の実施	A
			生きがい対策とひきこもり防止のための男性高齢者を対象とした料理教室の開催	健康推進課	79	65才以上の男性を対象とした料理教室を開催した。 9月25日 美和保健センター 14名 11月13日 七宝保健センター 19名 12月3日 コミュニティプラザ萱津 13名	A		継続	65才以上の男性を対象とした料理教室を開催した。 9月13日 コミュニティプラザ萱津 8名 10月10日 美和保健センター 12名 11月14日 七宝保健センター 13名	A
			外出の際の緊急時の連絡先などを記載できる安心カードの普及	高齢福祉課	80	昨年度に引き続き地域包括支援センターはじめ各地区の福祉センター、福祉会館や保健センターに配布し、またダウンロードによりあま市のウェブサイトからも発行ができるようにした。	A		継続	昨年度に引き続き地域包括支援センターはじめ各地区の福祉センター、福祉会館や保健センターに配布し、またダウンロードによりあま市のHPからも発行ができるようにした。	A
			高齢者虐待に関する周知・啓発		81	高齢者虐待の現状や虐待を発見した場合の通報義務等について、広報誌に掲載するとともに、市内3地区で街頭啓発を実施し、周知と啓発を行った。	A		継続	高齢者虐待の現状や虐待を発見した場合の通報義務等について、広報誌に掲載するとともに、市内3地区で街頭啓発を実施し、周知と啓発を行った。	A
			高齢者の成年後見制度の活用促進		82	成年後見制度に関するパンフレットにより制度の周知を図った。 市町村申立て等に係る低所得の高齢者に係る成年後見制度の申立てに要する経費や成年後見人等の報酬の助成等を行う。 ・本人申立ての支援 0人 ・親族申立ての支援 0人 ・市町村申立て 2人 ・成年後見人等助成費 0人	A		継続	成年後見制度に関するパンフレットにより制度の周知を図った。 市町村申立て等に係る低所得の高齢者に係る成年後見制度の申立てに要する経費や成年後見人等の報酬の助成等を行う。 ・本人申立ての支援 0人 ・親族申立ての支援 0人 ・市町村申立て 1人	A
			ICTを活用した医療と介護サービスの連携		83	ICTを活用した医療・介護連携を推進するため電子@連絡帳システム「つながるまい“あま”」の構築を行い他職種の連携を図った。 ・登録事業者数 90事業所(R2.3.31現在) ・登録者(対象者)16名 (R2.3.31現在)	A		継続 (登録事業所及び登録者(対象者)の拡充を行い、医療と介護の連携がスムーズになるように支援を行っている。)	ICTを活用した医療・介護連携を推進するため電子@連絡帳システム「つながるまい“あま”」の構築を行い他職種の連携を図った。 ・登録事業者数 87事業所(H31.3.31現在) ・登録者(対象者)12名 (H31.3.31現在)	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況		
						実施内容	評価	課題・問題点				
			消費者被害未然防止のための情報提供	産業振興課	84	海部地域消費生活センターによる幅広い啓発活動を行った。	A		継続	海部地域消費生活センターによる幅広い啓発活動を行った。	A	
			消費生活相談の実施		85	毎週金曜に本庁舎にて相談日を設けた。 元年度相談件数:5件	A		継続	毎週金曜に本庁舎にて相談日を設けた。 30年度相談件数:8件	A	
		⑳ 高齢者の現状把握と相談業務の充実										
			高齢者や家族に対する総合的な相談支援	高齢福祉課	86	地域包括支援センターにおいて、高齢者やその家族に対して総合的な相談窓口を開設している。 年間相談件数10,737件(直営1,502件、委託 9,235件) 市内4か所 ・あま市地域包括支援センター(直営) 甚目寺庁舎内 ・あま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託) 甚目寺総合福祉会館内 美和総合福祉センターすみれの里内 七宝老人福祉センター内	A		継続	地域包括支援センターにおいて、高齢者やその家族に対して総合的な相談窓口を開設している。 年間相談件数9,466件(直営1,478件、委託 7,988件) 市内4か所 ・あま市地域包括支援センター(直営) 甚目寺庁舎内 ・あま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託) 甚目寺総合福祉会館内 美和総合福祉センターすみれの里内 七宝老人福祉センター内	A	
					高齢者虐待対応マニュアルの活用	87	あま市高齢者虐待対応マニュアルに沿って、高齢者虐待に適切に対応した。	A		継続	あま市高齢者虐待対応マニュアルに沿って、高齢者虐待に適切に対応した。	A
					高齢者地域見守り体制の充実(高齢者地域見守り協定)	88	協定締結事業者気になる高齢者についての情報提供をしてもらい、孤独死を未然に防いだり、適切なサービスを使用していけるよう支援していく。 新聞販売店 12事業所 金融機関 17事業所 ライフライン 52事業所 配食宅配事業者 10事業所 生鮮食料品店 14事業所 (締結時は15事業所.1事業所は廃業のため締結終了) 薬局・ドラッグストア 20事業所 高速道路会社 1事業所	B		継続	協定締結事業者気になる高齢者についての情報提供をしてもらい、孤独死を未然に防いだり、適切なサービスを使用していけるよう支援していく。 新聞販売店 12事業所 金融機関 18事業所 ライフライン 52事業所 配食宅配事業者 10事業所 生鮮食料品店 14事業所 (締結時は15事業所.1事業所は廃業のため締結終了) 薬局・ドラッグストア 14事業所 高速道路会社 1事業所	B

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況		
						実施内容	評価	課題・問題点				
		②9 障がい者の人権に関する意識啓発										
			広報、市ホームページ等による障がい者の人権に関する情報提供と意識啓発	人権推進課	89	啓発パンフレット「人権週間特集号」(37,000部)を作成。全戸配布を行い、人権講演会や市内小中学校に配布した。 人権週間において、甚目寺総合体育館にてパネル展示を実施した。	A		継続	管理職職員を対象に障がい者についてのセミナーを開催した。 開催日:1月30日(水) 内 容:障がい者差別について 講 師:吉田 憲司 氏(あま市人権施策推進審議会委員) 参加者:50人	A	
		③0 障がい者の社会生活力向上のための取組										
			障がい者の社会参加を一層推進するための支援	社会福祉課	90	コミュニケーション支援を必要とする場合に手話通訳者を派遣した。(83件/年)	B		継続	コミュニケーション支援を必要とする場合に手話通訳者を派遣した。(130件/年)	A	
			外出に伴う支援や補装具等の給付		91	移動支援事業により外出の支援や車椅子等の支給により外出を容易にした。	B		継続	移動支援事業により外出の支援や車椅子等の支給により外出を容易にした。	B	
			日中活動の場及び短期入所等サービスの提供		92	地域活動支援センター事業を活用し、創作的活動や生産活動、地域との交流促進などの活動の場の確保を図った。(利用者71人/月)	B		継続	地域活動支援センター事業を活用し、創作的活動や生産活動、地域との交流促進などの活動の場の確保を図った。(利用者63人/月)	B	
			就労促進のための情報提供と相談支援		93	ハローワークが発行する近隣地域の求人情報を窓口にて閲覧に供した。(毎月1日、15日発行)	B		継続	ハローワークが発行する近隣地域の求人情報を窓口にて閲覧に供した。(毎月1日、15日発行)	B	
			手話通訳者による窓口対応や派遣等		94	甚目寺庁舎の社会福祉課窓口毎週火曜日の午前9時から正午、午後1時から4時、木曜日の午前9時から正午まで手話通訳者を設置をした。	B		継続	甚目寺庁舎の社会福祉課窓口毎週火曜日の午前9時から正午、午後1時から4時、木曜日の午前9時から正午まで手話通訳者を設置をした。	B	

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供	スポーツ課 社会福祉課	95	障がい者も比較的無理なく参加できる行事を開催した。 市民ラジオ体操の集い(3会場合計 959人) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月19日(日) 場 所 美和中学校 運動場 参加者 376人 開催日 6月23日(日) 場 所 甚目寺総合体育館 野外ステージ 参加者 235人 開催日 7月28日(日) 場 所 七宝北中学校 運動場 参加者 267人 ディスクゴルフ大会 内容 地域の方々の交流と健康増進・ニュースポーツの普及を目的とする 七宝地区予選会 10月6日(日) 七宝北中学校 運動場(110人) 甚目寺地区予選会 10月20日(日) 甚目寺中学校 運動場(94人) 美和地区予選会 9月29日(日) 美和中学校 運動場(108人) 決勝大会 11月10日(日) 甚目寺中学校 運動場(83人) 市民歩け歩け大会 内 容 岐阜県苗木城周辺ウォーキングコース(約5km)のウォーキング 開催日 10月27日(日) 参加者 117人 市民走ろう・歩こう会 内 容 木曽三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月26日(日) 参加者 341人	A		継続	障がい者も比較的無理なく参加できる行事を開催した。 市民ラジオ体操の集い(3会場合計 959人) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月27日(日) 場 所 美和中学校 運動場 参加者 370人 開催日 6月24日(日) 場 所 甚目寺総合体育館 野外ステージ 参加者 250人 開催日 7月22日(日) 場 所 七宝北中学校 運動場 参加者 339人 ディスクゴルフ大会 内容 地域の方々の交流と健康増進・ニュースポーツの普及を目的とする 七宝地区予選会 10月21日(日) 七宝北中学校 運動場(82人) 甚目寺地区予選会 11月4日(日) 甚目寺中学校 体育館(112人) 美和地区予選会 10月14日(日) 美和中学校 体育館(95人) 決勝大会 11月18日(日) 七宝北中学校 運動場(76人) 市民歩け歩け大会 内 容 滋賀県犬神郡多賀町ウォーキングコース(約5km)のウォーキング 開催日 10月28日(日) 参加者 142人 市民走ろう・歩こう会 内 容 木曽三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月27日(日) 参加者 400人	B
			障がい者に対する手当等制度の周知と継続	社会福祉課 保険医療課	96	心身障がい者に医療費の給付が行われたとき、その自己負担額を助成することにより、心身障がい者の自立更生と生活の向上を図ることができた。 受給者 881人	A		継続	心身障がい者に医療費の給付が行われたとき、その自己負担額を助成することにより、心身障がい者の自立更生と生活の向上を図ることができた。 受給者 874人	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
		③① 地域福祉推進のネットワークの構築									
			海部東部障害者総合支援協議会の機能の充実	社会福祉課	97	海部東部障害者総合支援協議会社会資源開発部会において、災害マニュアルの普及啓発活動を行った。 対象者 障がい者の家族、施設職員等 啓発 6回/年 参加者 約400人	B		継続	海部東部障害者総合支援協議会社会資源開発部会において、災害マニュアルの普及啓発活動を行った。 対象者 障がい者の家族、施設職員等 啓発 5回/年 参加者 約400人	B
		③② 外国人が安心して暮らせるための環境づくり									
			防災マップや生活便利帳など市の広報物を多言語に翻訳	企画政策課	98	外国人市民に対して多言語による防災情報等の提供や、防災意識の向上を目的として、避難所マップが掲載されたリーフレットを作成・配布した。また、あま市国際交流DAY内にて、災害時に外国人が困らないために私たちができること、また外国人が気をつけることなどをテーマに、避難訓練と防災ワークショップを実施した。	A		継続	外国人市民に対して多言語による防災情報等の提供や、防災意識の向上を目的として、避難所マップが掲載されたリーフレットを作成・配布した。また、平成29年度に作成・配布した生活情報誌を活用し、あま市国際交流DAY内にて、日本人と外国人が一緒に行政情報を見つけ出すワークショップを実施した。	A
			市ホームページにおける多言語表記の実施		99	多言語化された市ウェブサイトを活用し、外国人市民へ迅速に行政情報を発信・提供するとともに、行政サービスの充実に努めた。	A		継続	多言語化された市ウェブサイトを活用し、外国人市民へ迅速に行政情報を発信・提供するとともに、行政サービスの充実に努めた。	A
			相談時における関係情報の入手		100	外国人市民が生活に欠かせない行政情報や地域情報などを入手・提供するとともに、日本語ボランティアなどと連携し、外国人市民の生活上の相談などに対応した。	B		継続	外国人市民が生活に欠かせない行政情報や地域情報などを入手・提供するとともに、日本語ボランティアなどと連携し、外国人市民の生活上の相談などに対応した。	B
			市民団体による外国人を対象とする日本語教室の充実		101	あま市国際交流協会に補助金を交付し、国際交流協会が主催する日本語教室(2教室合計年間150回開催)について、財政的な支援を行った。 日本語教室ボランティア講師の募集ポスターの設置。	A		継続	あま市国際交流協会に補助金を交付し、国際交流協会が主催する日本語教室(2教室合計年間150回開催)について、財政的な支援を行った。 日本語教室ボランティア講師の募集ポスターの設置。	A
			市民団体との連携による国際交流事業の推進		102	あま市国際交流協会が主催する講座等の開催について、財政的な支援を行った。 世界の文化体験・交流会(年間26回) 災害対応講座等の開催	A		継続	あま市国際交流協会が主催する講座等の開催について、財政的な支援を行った。 世界の文化体験・交流会(年間26回) 災害対応講座等の開催	A
		③③ 外国人児童生徒の教育への配慮									
			必要に応じた日本語指導とスクールサポーターの配置	学校教育課	103	中国語・トルコ語等の生徒に対して、語学相談員としてスクールサポーターを配置した。	A		継続	中国語・トルコ語等の生徒に対して、語学相談員としてスクールサポーターを配置した。	A
			スクールサポーターによる外国人児童生徒の教育支援の充実		104	各学校に規模に応じてスクールサポーターを配置した。	A		継続	各学校に規模に応じてスクールサポーターを配置した。	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			10. 貧困等生活上の困難に直面する人々への支援								
			③4 ひとり親等生活困窮者への支援								
			母子・父子自立支援員による就業相談	子育て支援課	105	母子・父子自立支援員にて対応し、自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施した。 母子家庭等就業相談件数 24件	A		継続	母子・父子自立支援員にて対応し、自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施した。 母子家庭等就業相談件数 14件	A
			母子家庭等自立支援給付金の支給や母子父子寡婦福祉資金の貸付事業の実施		106	職業能力の開発支援をし経済的自立促進を図るための給付金 自立支援教育訓練給付金事業 0件 就職に有利で生活安定に資する資格取得を図るための促進費 高等職業訓練促進給付金等事業 6件 母子父子寡婦の自立支援と児童福祉増進に必要な資金の貸付 母子父子寡婦福祉資金 1件	A		継続	職業能力の開発支援をし経済的自立促進を図るための給付金 自立支援教育訓練給付金事業 4件 就職に有利で生活安定に資する資格取得を図るための促進費 高等職業訓練促進給付金等事業 4件 母子父子寡婦の自立支援と児童福祉増進に必要な資金の貸付 母子父子寡婦福祉資金 0件	A
			生活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施		107	母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施した。 母子家庭等相談件数 267件 母子家庭等就業相談件数 24件	A		継続	母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施した。 母子家庭等相談件数 226件 母子家庭等就業相談件数 14件	A
			児童扶養手当や遺児手当(県・市)の支給		108	離婚等の理由により、新たにひとり親家庭となった方からの相談に対し、児童扶養手当や遺児手当(県・市)の申請を指導した。 令和元年度中新規認定件数 105件	A		継続	離婚等の理由により、新たにひとり親家庭となった方からの相談に対し、児童扶養手当や遺児手当(県・市)の申請を指導した。 平成30年度中新規認定件数 104件	A
			ひとり親家庭の子どもへの生活・学習支援		109	ひとり親家庭の中学生を対象とした生活・学習支援事業を実施し、学力と社会適応能力を向上させ将来的な生活の安定を図った。	A		継続	ひとり親家庭の中学生を対象とした生活・学習支援事業を実施し、学力と社会適応能力を向上させ将来的な生活の安定を図った。	A
			女性の再就職のためのセミナー等の情報提供 【再掲3-8-㉔】	人権推進課	110	女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口に配布した。 女性活躍交流会を開催した。 開催日 2月22日(土) 場 所 七宝焼アートヴィレッジ 内 容 女性活躍情報誌で紹介した方のディスカッション ゲスト 武舎 妙子氏 田中 美奈氏 松下 亜美氏 参加者 18人	A		継続	女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口に配布した。 女性活躍交流会を開催した。 開催日 3月16日(木) 場 所 あまテラスカフェ(七宝産業会館) 内 容 女性活躍情報誌で紹介した方のディスカッション ゲスト 川原 史子氏 田村 有紀氏 渡邊 みづえ氏 参加者 24人	A
			医療費の自己負担額助成	保険医療課	111	ひとり親家庭の親子等に医療の給付が行われたとき、その自己負担額を助成することにより、ひとり親家庭の母及び父並びに児童の生活を支援した。 受給者 1,706人	A		継続	ひとり親家庭の親子等に医療の給付が行われたとき、その自己負担額を助成することにより、ひとり親家庭の母及び父並びに児童の生活を支援した。 受給者 1,684人	A
			就学援助費の支給	学校教育課	112	経済的な理由で子どもを通学させるのにお困りの方に学用品等就学に必要な経費の一部を援助した。	A		継続	経済的な理由で子どもを通学させるのにお困りの方に学用品等就学に必要な経費の一部を援助した。	A

基本目標	基本方針	施策	主な取り組み	担当課	管理番号	令和元年度実施状況			令和2年度の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			生活困窮者への支援	社会福祉課	113	ひとり親に限らず、広く生活や福祉に困窮する方に相談支援を実施し、自立支援計画を策定する。 R元年度 新規相談件数 309件 プラン作成件数 54件	A		継続	ひとり親に限らず、広く生活や福祉に困窮する方に相談支援を実施し、自立支援計画を策定する。 H30年度 新規相談件数 279件 プラン作成件数 33件	A
	11. 性的少数者、複合的に困難な状況に置かれている人々への支援										
	③⑤ 人権尊重を基盤とした取組										
			啓発パンフレットの作成【再掲1-1-①】	人権推進課	114	啓発パンフレット「人権週間特集号」(37,000部)を作成。全戸配布を行い、人権講演会や市内小中学校に配布した。 「人権まんが冊子(1,000部)」を作成し、市内小学校6年生に配布した。	A		継続	啓発パンフレット「人権週間特集号」(36,000部)を作成。全戸配布を行い、人権講演会や市内小中学校に配布した。 「人権まんが冊子(1,000部)」を作成し、市内小学校6年生に配布した。	A
			広報、パンフレット、市ホームページ等による情報の提供【再掲1-1-①】		115	懸垂幕の掲示(人権講演会、人権週間) 啓発冊子を購入した。	A		継続	懸垂幕の掲示(人権講演会、人権週間) 啓発冊子を購入した。	A
			人権の尊重に関する講演会、映画会、パネル展示、セミナー等の開催【再掲1-1-①】		116	広く市民に対し、人権問題の正しい認識と理解を深めてもらえるように講演会等を開催した。 ○人権講演会の開催 開催日 11月17日(日) 場 所 あま市甚目寺公民館 内 容 人権作文発表、創作劇「空白のカルテ」上演 劇団名古屋 参加者 432人 ○市民人権講座の開催(合計3回) <セミナーの開催> 開催日 9月24日(火) 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 「部落差別問題について考えてみよう！」 講 師 馬場 周一郎氏ジャーナリスト(元西日本新聞記者・公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特研究員) 参加者 71人(うち職員研修として32人)	A		継続	広く市民に対し、人権問題の正しい認識と理解を深めてもらえるように講演会等を開催した。 ○人権講演会「つたえたいこと」の開催 開催日 11月25日(日) 場 所 美和文化会館 内 容 人権作文発表、講演、映画「あん」上映、トークショー 講 師 小鹿 美佐雄氏(国立駿河療養所入所者自治会会長) 浅田美代子氏(「あん」出演者)、 ドリアン助川氏(「あん」原作者) 参加者 550人 ○市民人権講座の開催(合計3回) <セミナーの開催> 開催日 8月21日(火) 場 所 七宝焼アートヴィレッジ 内 容 「スリランカの生活や文化を知ろう」 講 師 水谷 将之氏(2003年 青年海外協力隊 派遣隊員) 参加者 84人	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
						開催日 2月5日(水) 場 所 あま市七宝焼アートヴィレッジ 内 容 「性的マイノリティと人権」 講 師 松岡 成子氏(NPO法人ASTA共同代表理事) 参加者 51人 <現地学習の開催> 開催日 7月2日(水) 場 所 国立駿河療養所 内 容 講和「ハンセン病問題について」 講 師 小鹿 美佐雄氏(国立駿河療養所入所者自治会会長) 療養所内見学 参加者 29人				開催日 9月12日(水) 場 所 美和文化会館 内 容 「がんばらない介護」 講 師 橋中 今日子氏(介護者メンタルケア協会代表) 参加者 92人 <映画上映会> 開催日 2月6日(水) 場 所 美和文化会館 内 容 概要説明(政府・拉致被害者等支援室 櫻井真典主査) 映画上映「めぐみ-引き裂かれた家族の30年」 参加者 180人	
			啓発用DVDの貸出し		117	様々な人権に関するDVDの貸出しと周知を行った。	A		継続	様々な人権に関するDVDの貸出しと周知を行った。	A
			LGBTなどに関するセミナーや啓発パンフレットの作成		118	OLGBTに関するセミナーの開催 開催日 2月5日(水) 場 所 あま市七宝焼アートヴィレッジ 内 容 「性的マイノリティと人権」 講 師 松岡 成子氏(NPO法人ASTA共同代表理事) 参加者 51人	A		継続	OLGBTに関する映画上映会を開催した。 開催日 6月30日(土) 場 所 美和文化会館 映 画 「彼らが本気で編むときは、」 参加者 160人	A
			人権尊重の精神を身につけるための道徳教育の実施【再掲2-3-⑦】	学校教育課	119	道徳の時間を充実させ、実践活動を実施した。そのための研修会を実施した。	A		継続	道徳の時間を充実させ、実践活動を実施した。そのための研修会を実施した。	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			1 2. 相談業務の充実								
			③⑥ 相談体制の充実								
			広報、市ホームページ 等を利用した相談開催 日の周知		120	広報や、市ウェブサイトにおいて、相談開催日時や場所等を掲載し、 周知を図った。	B		継続	広報や、市ウェブサイトにおいて、相談開催日時や場所等を掲載し、 周知を図った。	B
					相談関係機関との連携 強化	121	会や担当者会議を開催し各機関との連携を図った。 緊急対応が必要な事例や複雑な事例の場合は各関係機関が対処 した。 虐待等防止ネットワーク協議会 1回開催 実務者会議 6回開催 要保護児童実務者会議 12回開催 個別ケース検討会議(要保護児童関係) 4回開催 				

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
5. 生涯を通じた健康支援											
1 3. 心とからだの健康づくりへの支援											
③⑦ 健康増進事業の推進											
			各種検診・健康診査の実施	健康推進課	122	①個別検診(指定医療機関で6月～2月に実施) ・胃がん検診2,406人 ・肺がん検診3,376人 ・大腸がん検診2,938人 ・前立腺がん検診1,400人 ・子宮頸がん検診911人 ・子宮体部がん検診83人 ・乳がん検診(超音波)463人 ・乳がん検診(マンモグラフィ)510人 ・肝炎ウイルス検診18人 ②集団検診(甚目寺保健センター・七宝保健センター・美和保健センターで5月～10月に実施) ・胃がん検診2,228人 ・肺がん検診2,781人 ・大腸がん検診3,078人 ・前立腺がん検診1,114人 ・子宮頸がん1,092人 ・乳がん検診(マンモグラフィ)1,283人) ・骨粗しょう症検診150人 ・歯と口腔の健診1,147人 ・肝炎ウイルス検診145人 ・30、35歳健診149人 ・すこやか健診8人	A	継続 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団検診を中止)	①個別検診(指定医療機関で6月～10月に実施) ・胃がん検診2,171人 ・肺がん検診3,253人 ・大腸がん検診2,862人 ・前立腺がん検診1,380人 ・子宮頸がん検診666人 ・子宮体部がん検診88人 ・乳がん検診(超音波)498人 ・乳がん検診(マンモグラフィ)408人 ・肝炎ウイルス検診18人 ②集団検診(甚目寺保健センター・七宝保健センター・美和保健センターで5月～10月に実施) ・胃がん検診2,142人 ・肺がん検診2,681人 ・大腸がん検診2,975人 ・前立腺がん検診1,073人 ・子宮頸がん1,101人 ・乳がん検診(マンモグラフィ)1,296人 ・骨粗しょう症検診157人 ・歯科検診1,287人 ・肝炎ウイルス検診179人 ・30、35歳健診165人 ・すこやか健診8人	A	
		健康教室の開催	123		①実施回数 145 回 ②実施場所 甚目寺保健センター・七宝保健センター・美和保健センター ③内容 ・子育て世代の女性のためのヘルスアップ教室 ・40歳以上の健康づくり教室 ・お悩み別栄養教室 ・いきいき体操 参加者延べ人数 264人	A	継続	①実施回数 16 回 ②実施場所 甚目寺保健センター・七宝保健センター・美和保健センター ③内容 ・子育て世代の女性のためのヘルスアップ教室 ・40歳以上の健康づくり教室 ・お悩み別栄養教室 参加者延べ人数 205人	A		
		健康相談の実施	124		健康相談 相談件数 307 件 ①実施回数 34 回 ②実施場所 甚目寺老人福祉センター・人権ふれあいセンター・本郷憩の家・森憩の家・新居屋憩の家・七宝総合福祉センター・美和総合福祉センターすみれの里 栄養相談 相談件数 5 件 ①実施数 21 回 ②実施場所 甚目寺保健センター・七宝保健センター・美和保健センター	A	継続 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月末まで見合わせ)	健康相談 相談件数 362 件 ①実施回数 38 回 ②実施場所 甚目寺老人福祉センター・人権ふれあいセンター・本郷憩の家・森憩の家・新居屋憩の家・七宝総合福祉センター・美和総合福祉センターすみれの里 栄養相談 相談件数 28 件 ①実施数 24 回 ②実施場所 甚目寺保健センター・七宝保健センター・美和保健センター	A		

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			健康づくりボランティアの活動支援(新規)	健康推進課	125	役員会、定例会における資料作成、情報提供、運営支援を実施した。また、がん検診啓発活動、健康福祉まつりでの適正体重啓発活動の支援を実施した。	B	ボランティアの高齢化が進んでいる。	従来の活動の支援を行うとともに、新規ボランティアの積極的な募集を行う。	資料作成、定例会の情報提供・運営の支援を行い、がん検診の啓発活動、福祉健康祭りで適正体重の啓発及び資料資料の配布、低カロリー高タンパクのレンジでチン！簡単レシピを配布し、151名からアンケートの回答を得た。	A
			がん予防をはじめとした生活習慣の知識の普及		126	広報での啓発、母子健康手帳交付時の禁煙指導、成人式において禁煙・子宮頸がん検診受診啓発チラシを配付。乳児健診において受動喫煙防止、子宮頸がん検診啓発チラシを配布。(617人)	A		継続	広報での啓発、母子健康手帳交付時の禁煙指導、成人式において禁煙・子宮頸がん検診受診啓発チラシを配付。	A
			公認心理士による心の悩みなどの個別相談の実施		127	自殺を未然に防ぐため、自殺の危険性が高い方の早期発見、早期対応を図るため公認心理士によるこころの相談室を実施した。 甚目寺保健センター 1回／月 相談件数2件 子どもの発達相談、子どもとの関わり方についての相談会を実施した。 甚目寺保健センター 2回／月 七宝保健センター 1回／月 美和保健センター 1回／月 相談件数は32件	A		継続	自殺を未然に防ぐため、自殺の危険性が高い方の早期発見、早期対応を図るため心理相談員によるこころの相談室を実施した。 甚目寺保健センター 2回／月 相談件数2件(成人) 七宝保健センター 1回／月 相談件数3件(成人) 美和保健センター 1回／月 相談件数5件(成人) 母子も含めると相談件数は50件/年	A
			③⑧ 地域スポーツの推進								
			気軽に参加できるスポ			市民ラジオ体操の集い(3会場合計 959人) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月19日(日) 場 所 美和中学校 運動場 参加者 376人 開催日 6月23日(日) 場 所 甚目寺総合体育館 野外ステージ 参加者 235人 開催日 7月28日(日) 場 所 七宝北中学校 運動場 参加者 267人 ディスクゴルフ大会 内容 地域の方々の交流と健康増進・ニュースポーツの普及を目的とする。				市民ラジオ体操の集い(3会場合計 959人) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月27日(日) 場 所 美和中学校 運動場 参加者 370人 開催日 6月24日(日) 場 所 甚目寺総合体育館 野外ステージ 参加者 250人 開催日 7月22日(日) 場 所 七宝北中学校 運動場 参加者 339人 ディスクゴルフ大会 内容 地域の方々の交流と健康増進・ニュースポーツの普及を目的とする	

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			ーツイベントの開催	スポーツ課	128	七宝地区予選会 10月6日(日) 七宝北中学校 運動場(110人) 甚目寺地区予選会 10月20日(日) 甚目寺中学校 運動場(94人) 美和地区予選会 9月29日(日) 美和中学校 運動場(108人) 決勝大会 11月10日(日) 甚目寺中学校 運動場(83人) 市民歩け歩け大会 内 容 岐阜県苗木城ウォーキングコース(約5km) のウォーキング 開催日 10月27日(日) 参加者 117人 市民走ろう・歩こう会 内 容 木曽三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング (2km、4km、10km部門) 開催日 1月26日(日) 参加者 341人	A		継続	七宝地区予選会 10月21日(日) 七宝北中学校 運動場(82人) 甚目寺地区予選会 11月4日(日) 甚目寺中学校 体育館(112人) 美和地区予選会 10月14日(日) 美和中学校 体育館(95人) 決勝大会 11月18日(日) 七宝北中学校 運動場(76人) 市民歩け歩け大会 内 容 滋賀県犬神郡多賀町ウォーキングコース(約5km) のウォーキング 開催日 10月28日(日) 参加者 142人 市民走ろう・歩こう会 内 容 木曽三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング (2km、4km、10km部門) 開催日 1月27日(日) 参加者 400人	B
			スポーツを推進している団体への支援	スポーツ課	129	あまスポーツクラブや地域スポーツ員事業などを通じて、ニュースポーツを気軽に楽しめる事業やイベントを開催した。 あまスポーツクラブ事業 ・バレーボールクリニック 開催日 令和元年7月30日(火) 場所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ 参加者 145名(中学生) ・5周年記念イベント 開催日 令和元年8月11日(日) 場所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ 参加者 500人 地域スポーツ員事業 内容 ディスクゴルフ大会 開催日 令和元年9月29日(日)～11月10日(日) 場所 美和・甚目寺・七宝北中学校 参加者 395人	A		継続	あまスポーツクラブや地域スポーツ員事業などを通じて、ニュースポーツを気軽に楽しめる事業やイベントを開催した。 あまスポーツクラブ事業 ・ラダーゲッター大会 開催日 平成30年9月2日(日) 場所 美和公民館 講堂兼体育場 参加者 16組 ・5周年記念イベント 開催日 平成31年2月24日(日) 場所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ 参加者 174人 地域スポーツ員事業 内容 ディスクゴルフ大会 開催日 平成30年10月14日(日)～11月18日(日) 場所 美和・甚目寺・七宝北中学校 参加者 365人	B

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			1 4. 妊娠・出産等に関する健康支援								
			③⑨ 母子保健事業の充実								
			健康推進課	130	妊婦健診票を15回分交付(子宮がん検診も含む)県外受診にも償還払いで対応	A		継続	妊婦健診票を15回分交付(子宮がん検診も含む)県外受診にも償還払いで対応	A	
				131	産後8週間以内に受けられる受診票を1回分交付 県外受診にも償還払いで対応	A		継続	産後8週間以内に受けられる受診票を1回分交付 県外受診にも償還払いで対応	A	
				132	妊婦13人、こんにちは赤ちゃん家庭訪問事業650人、産婦652人を訪問	A		継続	妊婦10人、乳児672人、幼児168人、産婦635人を訪問	A	
				133	①一般編 参加者214人 (分娩についての話・沐浴・呼吸法・妊婦体操・お父さんの妊婦体験・交流会) 甚目寺保健センター4回・七宝保健センター3回・美和保健センター4回 ②栄養編 参加者50人 (妊娠中・産後の栄養についての話・試食) 甚目寺保健センター3回・七宝保健センター2回・美和保健センター3回 ③歯科健診 参加者91人 (妊婦対象の歯科診察・講話) 甚目寺保健センター7回・七宝保健センター4回・美和保健センター4回	A		継続 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月末まで見合わせ)	①一般編 参加者229人 (分娩についての話・沐浴・呼吸法・妊婦体操・お父さんの妊婦体験・交流会) 甚目寺保健センター4回・七宝保健センター4回・美和保健センター4回 ②栄養編 参加者54人 (妊娠中・産後の栄養についての話・試食) 甚目寺保健センター3回・七宝保健センター3回・美和保健センター3回 ③歯科健診 参加者78人 (妊婦対象の歯科診察、歯科医師による講話) 甚目寺保健センター9回・七宝保健センター5回・美和保健センター5回	A	
				134	一般不妊治療に要した保険適用分を含む本人負担額の1/2以内で50,000円を上限に助成。所得制限あり。46人に助成。	A		継続	人工受精に係る不妊治療に要した本人負担額の1/2以内で45,000円を上限に助成。所得制限あり。35人に助成。	A	
				135	妊娠期から子育て期にわたり、妊娠届出等の機会に得た情報をもとに、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要に応じて個別に支援プランを策定し、切れ目のない支援を行う。 妊娠届出数 725人 検討数(ハイリスク妊婦208人) 要支援検討会15回開催	A		継続	妊娠期から子育て期にわたり、妊娠届出等の機会に得た情報をもとに、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要に応じて個別に支援プランを策定し、切れ目のない支援を行う。 妊娠届出数 664人 検討数(ハイリスク妊婦169人) 要支援検討会18回開催	A	
	妊婦健康診査費用の助成										
	産後健康診査費用の助成										
		妊娠中の不安の軽減のための家庭訪問、出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施【再掲1-2-⑥】									
		妊婦とその夫を対象としたマタニティ教室の開催									
		一般不妊治療費の助成									
		妊娠・子育てつなぐサポート事業の実施									

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			子育てコンシェルジュ事業の実施【再掲3-7-⑮】	子育て支援課	136	平成29年5月1日より実施。 妊娠期・子育て期における様々な悩みについての相談を受けて、適切な子育て支援サービスへの情報提供、助言等を専門に行う子育てコンシェルジュを配置。 相談件数 512件	A		継続	平成29年5月1日より実施。 妊娠期・子育て期における様々な悩みについての相談を受けて、適切な子育て支援サービスへの情報提供、助言等を専門に行う子育てコンシェルジュを配置。 相談件数 635件	A

基本目標	基本方針	施策	主な取り組み	担当課	管理番号	令和元年度実施状況			令和2年度の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
		④⑩ 学校等との連携による思春期保健の推進									
		発達段階に応じた適切な性教育やHIV／エイズ等の教育の推進	学校教育課 健康推進課 人権推進課	137	子ども達の年齢に応じた保健学習、健康学習を実施した。	A		継続	子ども達の年齢に応じた保健学習、健康学習を実施した。	A	
		15. 女性特有の疾患に対する支援									
		④⑪ 女性の生涯にわたる健康づくりへの支援									
		節目対象者における子宮がん、乳がんの無料検診の実施	健康推進課	138	節目年齢の新規対象者に検診無料クーポン券・検診手帳の配布 子宮がん検診483人、乳がん検診592人	A		継続 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団検診を中止)	節目年齢の新規対象者に検診無料クーポン券・検診手帳の配布 子宮がん検診431人、乳がん検診584人	A	
妊娠期の子宮がん検診費用の助成		139	母子健康手帳発行時に交付	A		継続	母子健康手帳発行時に交付	A			
		女性のライフステージに応じた健康に関する情報提供	健康推進課 人権推進課	140	女性に特有のがんである子宮がん・乳がんに関する適切な知識やがん検診の受診の必要性について、情報提供、普及啓発を図った。 子宮がん・乳がん検診の集団検診及び個別検診(医療機関)を実施した。 受診者数 子宮がん 2,003人 乳がん 2,256人	A		継続 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団検診を中止)	女性に特有のがんである子宮がん・乳がんに関する適切な知識やがん検診の受診の必要性について、情報提供、普及啓発を図った。 子宮がん・乳がん検診の集団検診及び個別検診(医療機関)を実施した。 受診者数 子宮がん 1,784人 乳がん 2,202人	A	

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
6. 暴力の根絶のための基盤づくり											
1 6. 暴力の根絶に向けた意識啓発											
④2 暴力防止に関する啓発・情報提供の推進											
			啓発パンフレットの作成	子育て支援課 人権推進課 産業振興課	141	県等の資料を基にDVの相談チラシを作成し女性トイレ等に配置した。	A		継続	県等の資料を基にDVの相談チラシを作成し女性トイレ等に配置した。	A
			DVやセクシュアル・ハラスメントなど女性に対する暴力の根絶に向けた広報、市ホームページ等による啓発と情報提供		142	毎月広報にて相談の案内・ホームページにて情報提供を行った。また、県等の資料を基にDVの相談チラシを作成し女性トイレ等に配置した。 県との連携により巡回労働相談を行う。また、市、ホームページ、広報において巡回労働相談の情報提供を行った。 月1回 相談件数 3件 デートDV防止啓発パンフレット「デートDVって？～二人がすてきな関係でいるために～」を市内中学3年生に配布した。 女性に対する暴力をなくす運動週間においてパネル展を開催した。 開催日 11月12日(火)～25日(月) 場 所 あま市役所甚目寺庁舎	A		継続	毎月広報にて相談の案内・ホームページにて情報提供を行った。また、県等の資料を基にDVの相談チラシを作成し女性トイレ等に配置した。 県との連携により巡回労働相談を行う。また、市ウェブサイト、広報において巡回労働相談の情報提供を行った。 月1回 相談件数 3件 DV防止セミナーを開催した。 開催日 11月14日(水) 場 所 美和文化会館 内 容 DV加害者の実態と更生 ～DV被害者支援を目的に加害者の実体を知る～ 講 師 山口 のり子氏(アウェア代表) 参加者 86人	A
17. 犯罪防止に配慮した環境整備											
④3 地域における防犯対策の推進											
			おはこんあいさつ運動の推進【再掲1-2-⑤】	安全安心課	143	犯罪をしようとする者は地域住民と目が合ったり、あいさつされたりすると犯罪を諦める傾向があることから、地域内の随所に啓発プレートを出し、住民が互いに積極的なあいさつを交わすことで、犯罪者を寄せ付けない地域づくりを推進した。	B		継続	犯罪をしようとする者は地域住民と目が合ったり、あいさつされたりすると犯罪を諦める傾向があることから、地域内の随所に啓発プレートを出し、住民が互いに積極的なあいさつを交わすことで、犯罪者を寄せ付けない地域づくりを推進した。	A
			防犯啓発プレートの配布		144	各自主防犯団体や町内会に防犯プレートを配布し、市民の防犯意識の向上に寄与した。	B		継続	各自主防犯団体や町内会に防犯プレートを配布し、市民の防犯意識の向上に寄与した。	A
			自転車防犯パトロールの推進		145	市民に自転車防犯プレートを配布し、防犯意識を普及した。	B		継続	市民に自転車防犯プレートを配布し、防犯意識を普及した。	A
			青色防犯パトロール団体の設置		146	青色防犯パトロール団体の新規発足を呼び掛けた。	B		継続	青色防犯パトロール団体の新規発足を呼び掛けた。	A
			地域防犯灯の設置支援		147	地区等が防犯灯を新設する場合や器具を取り替える場合の経費を補助金として交付した。また、従来型防犯灯に対してLED防犯灯の補助金額を増額することで、LED防犯灯の設置を推進した。	B		継続	地区等が防犯灯を新設する場合や器具を取り替える場合の経費を補助金として交付した。また、従来型防犯灯に対してLED防犯灯の補助金額を増額することで、LED防犯灯の設置を推進した。	A

基本 目標	基本 方針	施策	主な取り組み	担当課	管理 番号	令和元年度実施状況			令和2年度 の方針	(参考)平成30年度実施状況	
						実施内容	評価	課題・問題点			
			広報、市ホームページ、街頭啓発等による情報提供や啓発活動		148	積極的に情報提供や啓発活動に努めた。	B		継続	積極的に情報提供や啓発活動に努めた。	A
			公用車の青色防犯パトロール車化	総務課 安全安心課	149	平成28年度までに12台の公用車に青色回転灯を設置し、当該車両の維持管理を行った。 公用車を青色防犯パトロール車にすることで、防犯啓発の頻度を高め、市内の犯罪率の低下を目指した。	B		継続	平成28年度までに12台の公用車に青色回転灯を設置し、当該車両の維持管理を行った。 公用車を青色防犯パトロール車にすることで、防犯啓発の頻度を高め、市内の犯罪率の低下を目指した。	A
		18. 被害者の実情に応じた切れ目のない支援体制の充実									
		④ 相談・支援体制の充実と周知									
			DV被害者の安全確保と一時保護の実施	子育て支援課	150	DV担当者を配置し、被害者の相談、保護及び自立に向けての支援を行った。 面接相談 54件 電話相談 3件 一時保護数 3件	A		継続	DV担当者を配置し、被害者の相談、保護及び自立に向けての支援を行った。 面接相談 24件 電話相談 1件 一時保護数 2件	A
			窓口のワンストップ化の推進		151	DV相談窓口及び手続きのワンストップ化を図るため相談室を別室に設置し、家庭児童相談員及び母子・父子自立支援員を配置した。	A		継続	DV相談窓口及び手続きのワンストップ化を図るため相談室を別室に設置し、家庭児童相談員及び母子・父子自立支援員を配置した。	A
			相談員の資質向上		152	研修会に参加し、相談員の資質向上を図った。 研修名：西尾張家庭相談員研修会、愛知県家庭相談員研修会、市町村女性問題相談員実務研修、尾張ブロック女性相談員研修会、女性問題相談員ネットワーク研修	A		継続	研修会に参加し、相談員の資質向上を図った。 研修名：西尾張家庭相談員研修会、愛知県家庭相談員研修会、市町村女性問題相談員実務研修、尾張ブロック女性相談員研修会、女性問題相談員ネットワーク研修	A
			あま市住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度の周知	市民課	153	住民票等の不正請求及び不正取得による個人の権利の侵害を防止するため、本人以外の第三者に証明書を交付したとき、事前登録者へ交付した証明書の種別等を通知する。	B		継続	閲覧台帳作成時に支援対象者を除いた台帳を作成し、誤閲覧しないよう対応した。	B
			リーフレットや広報、市ホームページによる相談窓口等の情報提供	高齢福祉課 社会福祉課 子育て支援課 健康教育課 人権推進課	154	毎月広報・ホームページにて、児童生徒の教育等に関する相談の案内について情報提供を行った。	A		継続	毎月広報・ホームページにて、児童生徒の教育等に関する相談の案内について情報提供を行った。	A
			あま市虐待等防止ネットワーク協議会によるDV被害者支援体制の充実		155	虐待防止ネットワーク協議会や担当国会議を開催し各機関との連携を図った。緊急対応が必要な事例や複雑な事例の場合は各関係機関が対処した。 虐待等防止ネットワーク協議会 1回開催 実務者会議 6回開催 児童虐待に関する講演会 1回開催 街頭啓発活動 3回開催 要保護児童実務者会議 12回開催 個別ケース検討会議(要保護児童関係) 3回開催 (障がい児者関係) 4回開催 (高齢者関係) 8回開催	A		継続	虐待防止ネットワーク協議会や担当国会議を開催し各機関との連携を図った。緊急対応が必要な事例や複雑な事例の場合は各関係機関が対処した。 虐待等防止ネットワーク協議会 1回開催 実務者会議 6回開催 講演会(高齢者虐待) 1回開催 街頭啓発 1回開催 要保護児童実務者会議 12回開催 個別ケース検討会議(要保護児童関係) 4回開催 (障がい児者関係) 4回開催 (高齢者関係) 8回開催	A